

日本学術会議主催学術フォーラム

環境化学物質の健康影響、 その理解と健康をまもる生活環境の維持に向けて 1. 環境化学物質の健康影響とは

開催
日時

令和7年

12/18 木
13:30-16:45

開催
場所

日本学術会議講堂および
(東京都港区六本木7-22-34)
ハイブリッド開催

プログラム

総合司会・コーディネーター

中村 桂子 (日本学術会議連携会員／東京科学大学名誉教授)

野原 恵子 (日本学術会議連携会員／国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員・名誉研究員)

13:30 開会挨拶

森口 祐一 (日本学術会議会員 環境学委員会委員長／東京大学名誉教授)

13:35 趣旨説明

野原 恵子 (日本学術会議連携会員／国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員・名誉研究員)

環境中に放出される化学物質は人間活動の増大に伴って増加し、その中にはヒトや生態系に悪影響を及ぼす可能性をもつものもあります。環境化学物質の悪影響から将来にわたって人類の健康を守るためには多岐にわたる研究が必要です。本フォーラムでは、環境化学物質の健康影響に関する研究を議論します。

第1部

セッション1

座長：小椋 康光 (日本学術会議連携会員／千葉大学大学院薬学研究院教授)

13:45 環境化学物質の健康影響リスク評価

青木 康展 (日本学術会議連携会員 (特任)／国立研究開発法人国立環境研究所 名誉研究員)

14:20 従来の毒性とシグナル毒性：内分泌かく乱との関係

菅野 純 (日本学術会議連携会員／国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員・名誉職員)

セッション2

座長：鹿嶋 小緒里 (日本学術会議連携会員／広島大学IDEC国際連携機構プラネタリーヘルスイノベーションサイエンスセンター (PHIS) センター長／広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授)

14:55 環境化学物質の多世代・継世代影響

野原 恵子 (日本学術会議連携会員／国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員・名誉研究員)

15:30 オルガノイド技術を用いた環境化学物質の影響評価

戸塚 ゆ加里 (星薬科大学衛生化学研究室 教授)

休憩

第2部

16:20 総合討論

座長：渡辺 知保 (日本学術会議連携会員／長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環教授)

パネリスト：青木 康展、菅野 純、野原 恵子、戸塚 ゆ加里

16:40 閉会挨拶

中村 桂子 (日本学術会議連携会員／東京科学大学名誉教授)

16:45 閉会

参加費無料

どなたでもご参加いただけます。

お申し込み方法

要事前参加登録

右のQRコードまたは
下記URLからご登録をお願いします。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0335.html>

申し込み締切 12月15日(月)



主催 日本学術会議

後援 国立医薬品食品衛生研究所、国立研究開発法人国立環境研究所、一般社団法人日本衛生学会、一般社団法人日本環境化学会、一般社団法人日本公衆衛生学会、一般社団法人日本毒性学会、日本内分泌攪乱物質学会、日本免疫毒性学会、一般社団法人日本DOHaD学会

問い合わせ

日本学術会議事務局企画課
学術フォーラム担当
TEL 03-3403-6295

